

府省連携によるスマートシティの推進



平成31年4月

内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

- Society 5.0はいよいよ実証から実装段階。しかし、これを一気に社会に展開することは困難。
- まずは一定の地域（スマートシティ、スマートカントリー）において実証・実装。
これを横展開しながら、全国にSociety 5.0を展開。
- このため、次の対応を政府一体となって推進。本年度の各府省事業から適用。
(SIP補正予算：2019年度執行)
 - 共通アーキテクチャを構成し、相互運用性や技術の進展に伴う機能の拡張性を確保
 - SIP 1期・2期（2014-22年度）等で開発された、分野ごとのデータ基盤も連結
 - 法制度等のルール、ビジョン実現やデータ基盤の運営に必要な組織なども一体的に整備
 - パーソナルデータ流通のアーキテクチャ（情報信託等）について、実証を踏まえ構築
- 得られた成果を海外にも展開し、海外の都市との間でも相互に知見を共有。
 - G20大阪会合を契機に、各国の成功事例、データ連携基盤の考え方等の知見を共有するプロセスを構築。
 - 二国間・多国間の連携・協力等を推進。

世界の動向

● スマートシティの**進化**

- 個別ICT技術の実証から、都市の丸ごとのアーキテクチャの提示、新しいビジネス・サービス・価値の創出へ

● スマートシティ間の**国際競争**

都市	主アクター	内容
アムステルダム	自治体	CO2削減を目指し環境・エネルギー、健康医療、インフラ等の分野で試験事業
シンガポール	国家	国土全体を3Dモデル化し情報をリンク
トロント	Google関連会社	都市各所のセンサーで情報を常時収集し、都市設計に反映

- コンセプト、データ等について各地で**連携**の動き

イニシアティブ	概要
FIWARE グローバル・サミット	スマートIoTおよびオープンデータの実装課題について意見交換
Smart Cities New York	フィジカル・デジタルインフラ、健康、教育、モビリティ等について意見交換
Marketplace.city 中国・雄安新区	オープン化により各都市の情報やソリューションを共有 世界各国とMOUを結び最先端技術を取り入れ
日ASEANイノベーション連携	「ASEANスマートシティネットワーク」を提唱
アジア・スマートシティ会議	スマートな都市開発に向けた情報のハブ構築

日本の動向

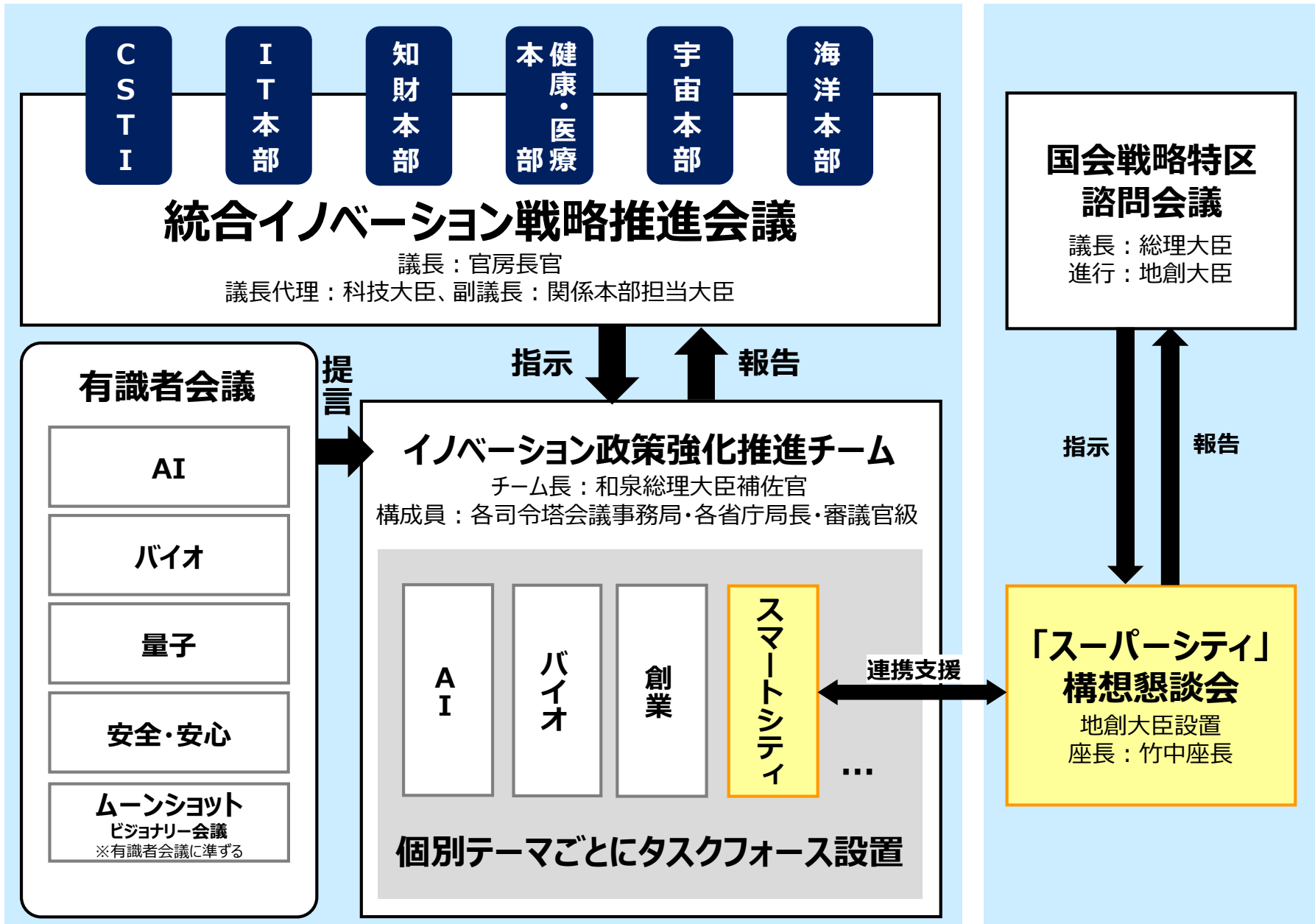
● 政府各本部・省庁が、所管分野を中心に個別にモデル事業等を実施

本部・省庁	主な取組
CSTI	SIPによる研究開発、東京五輪での発信
未来投資	成長戦略(スマートシティ)
地方創生	スーパーシティ構想
総務省	モデル事業（ICTを活用した分野横断の街づくり）
経産省	モデル事業（ITや蓄電池の技術を活用した分散型エネルギー管理）
国交省	モデル事業（先進技術で市民生活・都市活動や都市インフラの管理・活用を高度・効率化）

● 産業界から、国際潮流を踏まえた新提言

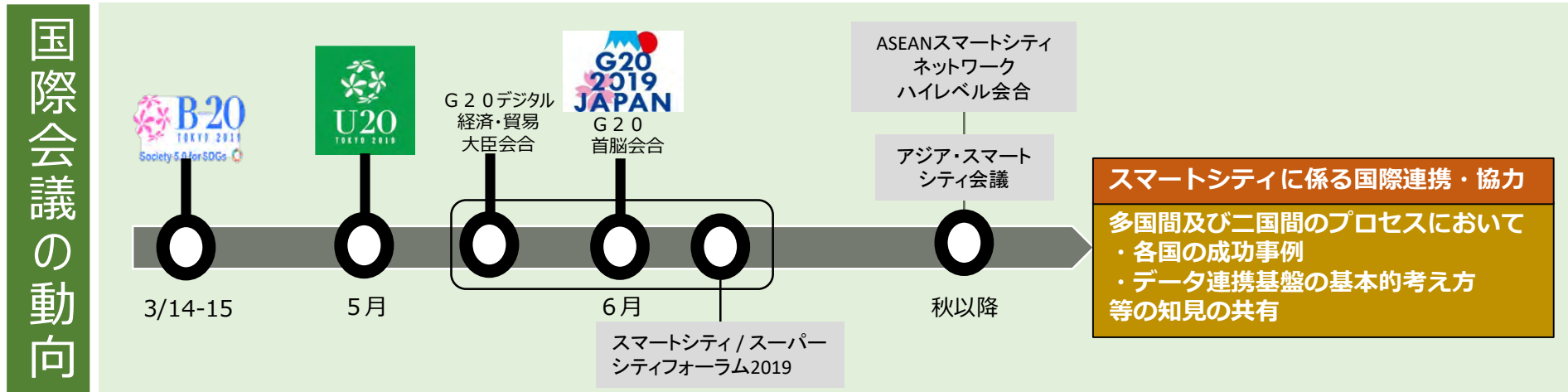
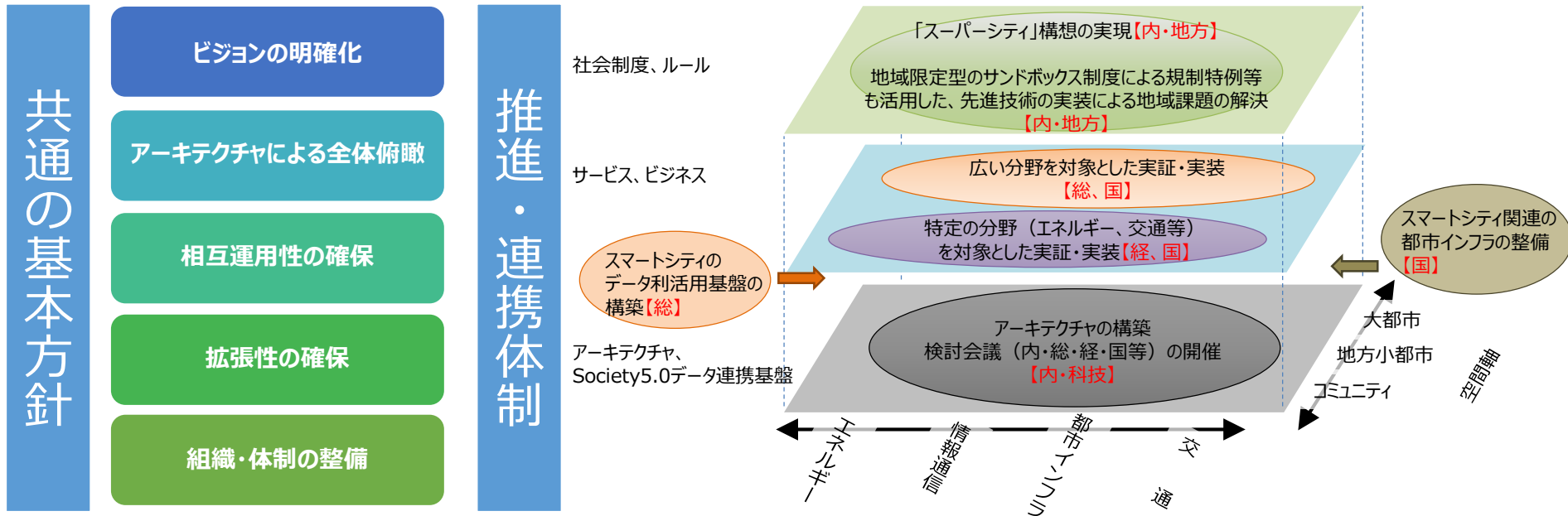
- COCN：「デジタルスマートシティ」プロジェクト
- 経団連：「Society5.0アクションプラン」

統合イノベーション戦略推進会議における検討体制



スマートシティの推進 (2019/3/29 統合イノベーション戦略推進会議 決定事項)

- ・府省連携したスマートシティ関連事業の推進に関する基本方針について決定
- ・アーキテクチャ構築のための検討会議を設置し、各府省の事業の実施に反映していくことを決定
- ・上記決定事項により、共通基盤の下に府省連携して事業を推進し、世界のスマートシティ連携の強化を促進する。



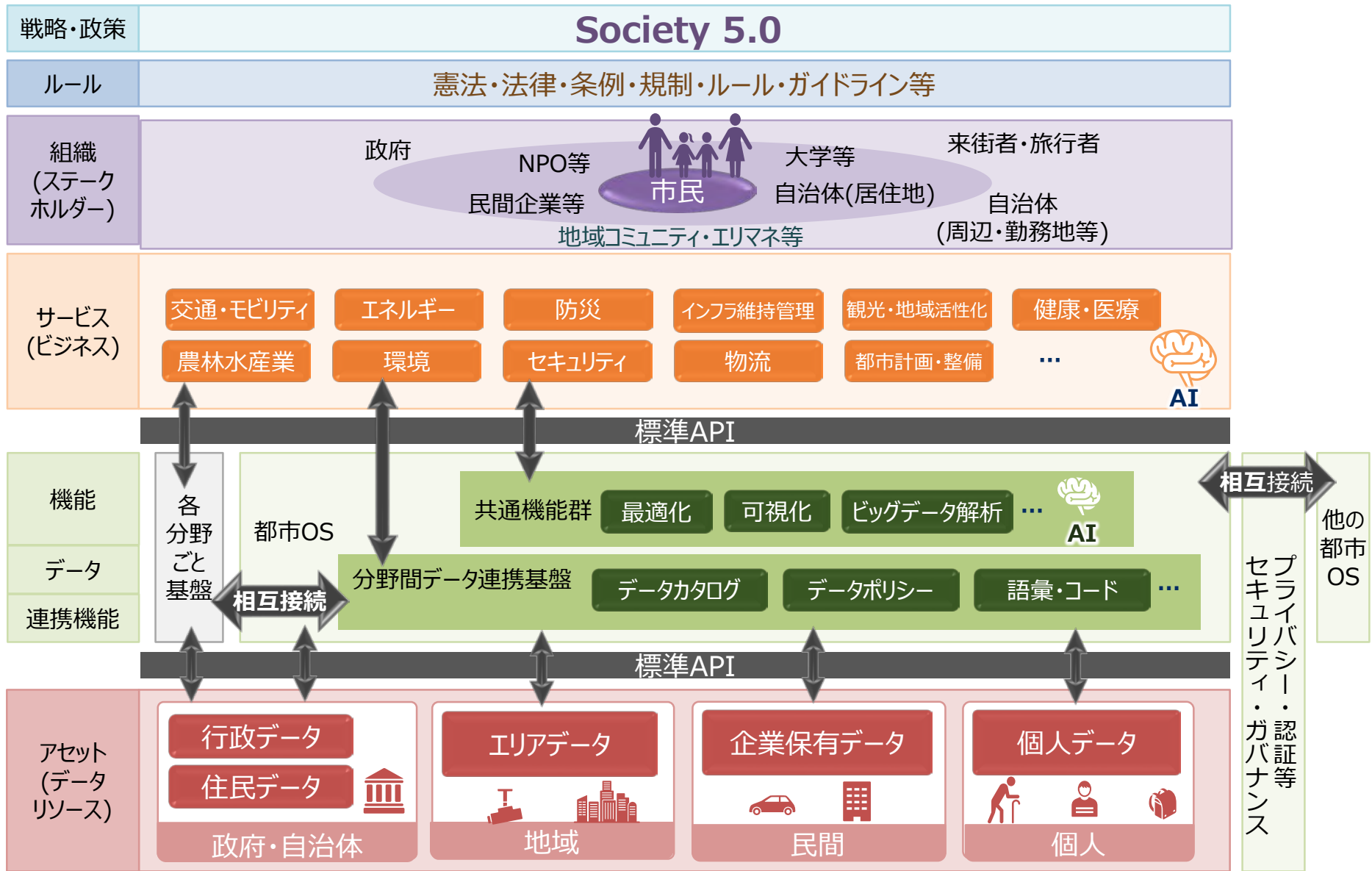
各府省のスマートシティ事業の概要

実施省庁	事業名※	事業の位置づけ	実施都市
内閣府（科学技術・イノベーション担当）	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)	スマートシティのアーキテクチャ設計※※のための実証 ▶ アーキテクチャ検討のため、IT、地創(特区)、経、総、国が参加の検討会議を設置 ▶ 実証には総務省・国交省も協力	H31実施
内閣府（地方創生推進事務局/国家戦略特区担当）	スーパーシティ構想 （地方創生推進交付金等）	「スーパーシティ構想」の実現	H31-実施
内閣府（地方創生推進事務局/都市再生・近未来技術実装担当）	近未来技術等社会実装事業 ※過去には、「環境モデル都市」、「環境未来都市」、「SDG未来都市・自治体SDGモデル事業」の名称の事業も実施	地域限定型のサンドボックス制度による規制特例等も活用した、先進技術の実装による地域課題の解決	63自治体 （二セコ町、南相馬市、柏市、横浜市、富山市、生駒市、上勝町等）
総務省	ICTスマートシティ整備推進事業 ※過去には、「ICT街づくり推進事業」、「データ利活用型スマートシティ推進事業」の名称の事業も実施	・広い分野を対象とした実証・実装 ・スマートシティのデータ利活用基盤の構築	35自治体 （札幌市、会津若松市、さいたま市、柏市、豊田市、塩尻市、加古川市、高松市等）
経済産業省	需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業費補助金 ※過去には「スマートコミュニティ実証事業」も実施	特定の分野（エネルギー）を対象とした実証・実装	H28-実施（企業等が対象） ※4自治体(横浜市、豊田市、けいはんな、北九州市)
国土交通省	スマートシティ実証調査	広い分野を対象とした実証・実装	2自治体(札幌市、豊島区)
	都市再生整備計画事業 （社会資本整備総合交付金）	スマートシティ関連の都市インフラの整備	H31-実施
	新モビリティサービス推進事業	特定の分野（交通）を対象とした実証・実装	H31-実施

※ このほか、スマートシティに関連する個別分野（健康医療、環境、教育・・・）の実証事業が関係各府省により実施されている。

※※ 経済産業省がMaaS、プラント等の分野で具体的なアーキテクチャ設計を進める計画であり、これと連携して実施。

スマートシティのアーキテクチャのイメージ



多様なデータの連携

交通、エネルギー、インフラ、防災、物流、観光、健康・医療、金融等の多様なデータの連携により、様々なサービスを展開し、スマートシティを実現

